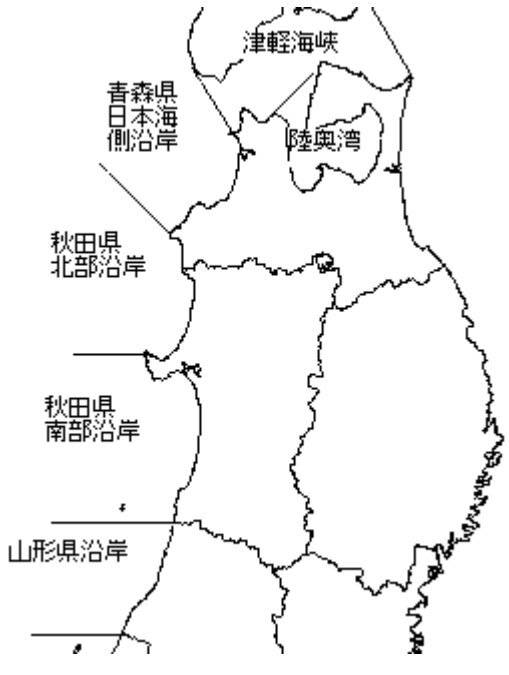


「広域海上予報」 申込書 (日本海側用)

平成 年 月 日

会社名 (個人のお客様は記入不要)		
お申込み責任者役職 お名前 印		
所在地 〒		
電話番号 (※印は必須ではありません) ※ FAX ※メールアドレス		
代表者 (個人のお客様は記入不要) お名前	経理ご担当者役職 (個人のお客様は記入不要) お名前	
利用の種類	<input type="checkbox"/> 継続利用 年 月 日 ~ 年 月 日 (終了日省略可) <input type="checkbox"/> 特定日利用 年 月 日	予報エリア (海岸から数 km ~ 約 50km のエリア) 
予報エリア (右図参照)	<input type="checkbox"/> 津軽海峡 <input type="checkbox"/> 陸奥湾 <input type="checkbox"/> 青森県日本海側沿岸 <input type="checkbox"/> 秋田県北部沿岸 <input type="checkbox"/> 秋田県南部沿岸 <input type="checkbox"/> 山形県沿岸 海域数 ()	
配信時刻	<input type="checkbox"/> 午前 時 分頃 <input type="checkbox"/> 午後 時 分頃	
オプション	<input type="checkbox"/> 天気図	
配信方法	<input type="checkbox"/> FAX (番号:) <input type="checkbox"/> メール (PDF 添付ファイル) (アドレス:) <input type="checkbox"/> 携帯メール (アドレス:)	
備考		

別紙「「広域海上予報」利用上の了解事項」の内容を了解のうえ、上記のとおり海上気象予報サービスを申し込みます。

了解事項確認印 印

FAX 018-853-0841 〒010-0956 秋田市山王臨海町 4-6 アナザーワンビル 302 号
2箇所押印のうえ、郵送または FAX にてお申込みください。

「広域・ピンポイント海上予報」利用上の了解事項

- ◎ 「海上予報」は気象学的解析に基づくもので、現状の科学的技術では不可知の要素を含んでいるため、実際に起こる波浪や気象現象との間に差異が生じることがあります。
- ◎ 「海上予報」の情報に基づく一切の活動決定は利用者自身が自己責任の下に行うものとし、ウェザープランニングは、その活動結果として発生した生命を含む人的被害・損害、所有物や財産の損失・損害、およびそれらの補償に対して一切の責任を負わないものとしします。

「海上予報」の情報は、財団法人気象業務支援センターからの予報支援資料入手の回線等に異常が生じた場合、著しく精度が落ちたり、または提供不能になったりする場合があります。

「海上予報」が、回線の異常、その他の原因により提供できなくなる恐れがあるときは、ウェザープランニングは可能な限り速やかに連絡するものとしします。

「広域海上予報」提供の時刻は、提供の回線状況や配信希望時刻の重複、情報作成の困難さ等の事情により、30分程度前後することがあります。

継続利用において、サービス不能な日が1か月に2日以上あった場合、その料金は請求いたしません。
(日割り計算)

継続利用において、サービス終了の期日のない申込みの場合、原則として利用者から終了の申し出がない限りサービスを継続するものとしします。

継続利用において、有限会社ウェザープランニングの事情によりサービスを打ち切る場合は、原則として3か月以上前に連絡するものとし、申込者はこれを拒否できないものとしします。

継続利用の場合、サービス料金は暦日の月単位とし、サービスの翌月払いとします。

継続利用において、サービス料金が滞納された場合、有限会社ウェザープランニングは、予告なくサービスを打ち切ることができるものとしします。

特定日利用は原則として前払いとしますが、利用が頻繁な場合は別途協議するものとしします。

「ピンポイント海上予報」の情報はお客様自身が利用するものとし、ウェザープランニングの許可なく複製、再配布等の二次利用はできません。

「広域海上予報」の情報は原則としてお客様自身が利用するものとししますが、複写、再配布等はウェザープランニングへの事前連絡、無償配布、本了解事項の最初の2項目(◎の項目)を利用者に確実に伝えることを条件に許可します。

予報理解のための参考事項

- ・ 風速の予報値は平均風速です。瞬間風速は、平均風速の1.5倍以上になることがあります。特に、積乱雲の直下では、予報値をはるかに超える突風が吹くことがあります。
- ・ 波浪予報の対象は有義波です。波高の高いほうから順に全体の1/3の個数の波を選び、これらの波高および周期を平均したものを有義波といいます。有義波高は、目視で観測される波高に近い値となります。統計的には100波に1波は有義波高の1.6倍、1000波に1波は有義波高の2倍近い高い波が出現する可能性があります。
- ・ 波高は、波の谷から峰までの鉛直距離です。
- ・ 波向は、波の向かってくる方向です。